

与論町海洋教育プログラム(提案書)

実施者: 誇れるふるさとネットワーク / 池田 龍介
 連絡先: 090-4347-5626 / yunnu1127@gmail.com

テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 海に親しむ	<input type="checkbox"/> 海を知る	<input type="checkbox"/> 海を守る	<input type="checkbox"/> 海を利用する
学習のねらい	<p>「SUP(スタンドアップパドル)体験」or「SUPヨガ」で体幹トレーニング 若者に人気のSUP体験を通じて、海に親しむと同時に与論島の魅力を体感する。 ※与論島は海に囲まれた自然豊かな環境にあるが、海洋体験は観光客や修学旅行生が主な対象となっており、地元の青少年への体験提供は少ないのが現状。 (また、「姿勢が悪いこどもの増加」が懸念されている現代社会において、「SUPヨガ」を通じた体幹トレーニングとして実施することも可能です。※要相談)</p>			
身に付けたい 資質・能力	<input type="checkbox"/> 情報収集・判断	<input type="checkbox"/> 対話	<input type="checkbox"/> 問題解決	<input type="checkbox"/> 持続的利用
	<input type="checkbox"/> 感動	<input type="checkbox"/> 関係	<input type="checkbox"/> 主体	<input type="checkbox"/> 継続
実施について	対象: 高校生	時期: 3~10月	場所: 北西~東海岸 ヨガはプールも可	時間: 45~60分
内容	<p>※実施場所は、ウドゥヌスや茶花海岸、コースタル、アイギ浜、皆田海岸が望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●担任の先生の挨拶、健康チェック、今日の流れの説明(5分) ・セーフティトーク ・SUPについてレクチャー、準備運動 <p>●SUP体験 ※使用するボードの数は、生徒の数や年齢、経験の有無、風や潮流の強さ、スタッフ数などを鑑みて判断する。 ※全体での休憩時間は設けないので、各自休憩・水分をとるように伝えるが、生徒に異常がないか、また、天候・海況の急変がないか常に観察しながら実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人数確認、怪我・体調確認 ●まとめ、担任の先生の挨拶(5分) <p>(海ごみ・マイクロプラスチックについて、その場で拾ったものを掲示)</p>			
備品	実施者: SUPボード、パドル、ライフジャケット、救急用品 生徒: 水泳着、サンダル、帽子、水分、タオル、着替え 学校: 救急用品			
その他	活動前の下見と当日の天候・気象予報の状況により、活動実施の有無を判断する。また、参加者の体調・状況などにより、危険と判断した場合は活動を中止する。 ※B&G海洋センターとの協働により、大人数での実施が可能になるかもしれません。			